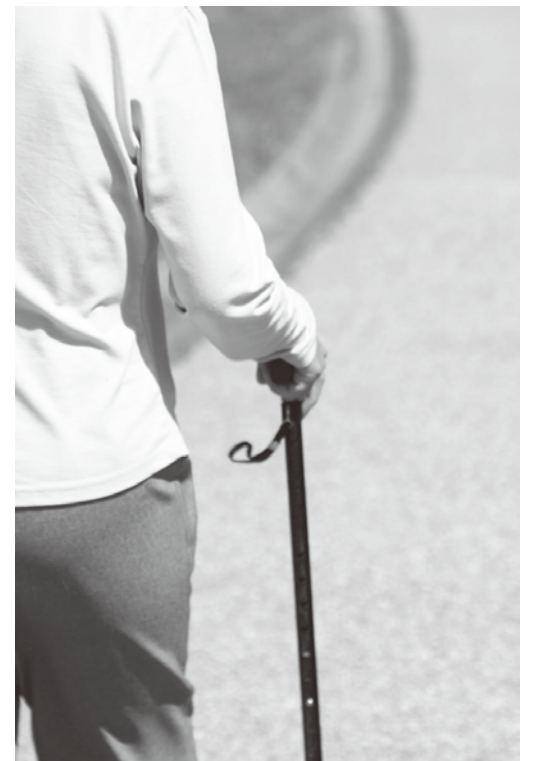


帰ってきた gomidas No.10

問い合わせ リサイクルセンター ☎5101

「ふれあい戸別収集」を行います



寝たきりなどで自らごみを持ち出すことが困難で、親族などの協力が難しい方に、自宅の玄関先で直接ごみを収集する「ふれあい戸別収集」を行います。収集は週2回で、利用料は無料です。

対象となるのは、世帯員が次に掲げる方のみで構成される世帯です。

- ① 介護保険の要介護度3以上
- ② 身体障害者手帳1級又は2級を所持
- ③ 療育手帳(A)又はAを所持
- ④ 精神障害者保健福祉手帳1級を所持
- ⑤ ①から④以外で、特別な事情があるため戸別収集が必要

本人による申請が難しい場合は、介護に係わっている地域包括支援センターや、居宅介護事業所に申請書がありますので、ご相談ください。また、お住まいの地区の自治会長や民生委員が、代わって提出することもできます。

申請書は、環境整備課(市役所)、またはリサイクルセンター(東栄3丁目)に提出してください。申請書の審査後、訪問などで現況を確認したうえで、利用の可否を決定し、通知します。

なお、ごみの分別は「家庭ごみの出し方」通りですが、週2回の訪問日と時間を予めご連絡して、収集する予定です。

ごみ収集車でスプレー缶が爆発

6月12日(水)に、玖波地区でごみ収集車の荷台のスプレー缶が爆発し、火災が発生しました。

この日は「もやさないごみ」の収集日でしたが、ごみの中にスプレー缶が多数含まれていたため、ごみを収集車に積み込むときにガスが残っていたスプレー缶が爆発し、火災になりました。

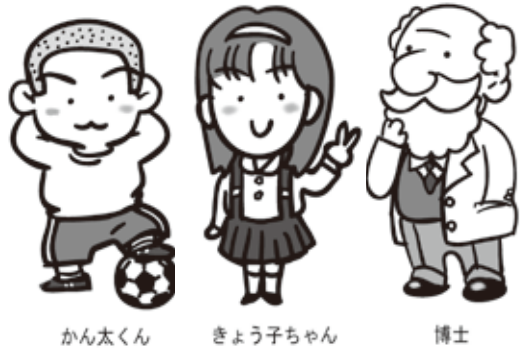
スプレー缶も、貴重な資源です。ガスが無くなるまで使い切り、必ず「缶の日」に出してください。「もやさないごみ」の中にスプレー缶が入っているときは、大変危険なので、警告書を貼り、収集しません。皆さんのご協力をお願いします。

もやさないごみに入っていたスプレー缶



こいこいバス 年間利用者数過去最高を記録!

問い合わせ 大竹市地域公共交通活性化協議会(自治振興課内) ☎2142



きょう子 一年ごとに利用者が8千人以上増えていることになるね。これってすごいことよね。

博士 しかも、平成24年6月に初めて、年間利用者数が7千人を超え、8月には過去最高の7,681人が利用したんじゃない。

かん太 すごい。

1便あたりの利用者数

期別	利用者数 (人/便)
平成21年度	4.72
平成22年度	5.57
平成23年度	6.13
平成24年度	6.95

月間利用者数ランキング

順位	期別	利用者数 (人/月)
1位	平成24年8月	7,681
2位	平成24年7月	7,510
3位	平成25年3月	7,377

きょう子 ねえ、博士教えて。

博士 何が知りたいんじゃない。

きょう子 市内を走っているかわいいうおレンジ色の「こいこいバス」のこと。よく走っているのを見るけど、みんな利用しているのかな。

博士 利用している人は徐々に増えているようじゃ。

かん太 どれくらいの人が利用しているの。

博士 平成21年の10月に実証運行を開始しているんじゃないが、年間の利用者数は、22年度は6万6千人、23年度は7万4千人、24年度には、8万4千人と増えているんじゃない。

きょう子 こいこいバスには1便あたりの利用者数の目標があったけど、どうなっているの。

博士 よく覚えてるの。こいこいバスには、1便あたりの利用者数6人という目標があるんじゃないが、23年度、24年度は順調に目標を達成しているんじゃない。

きょう子 目標をクリアしているから、こいこいバスはもう大丈夫なのかな。

博士 今は目標をクリアしているけど、このまま継続できるかわかんない。家族で出かけるときの交通手段は何が多いかの。

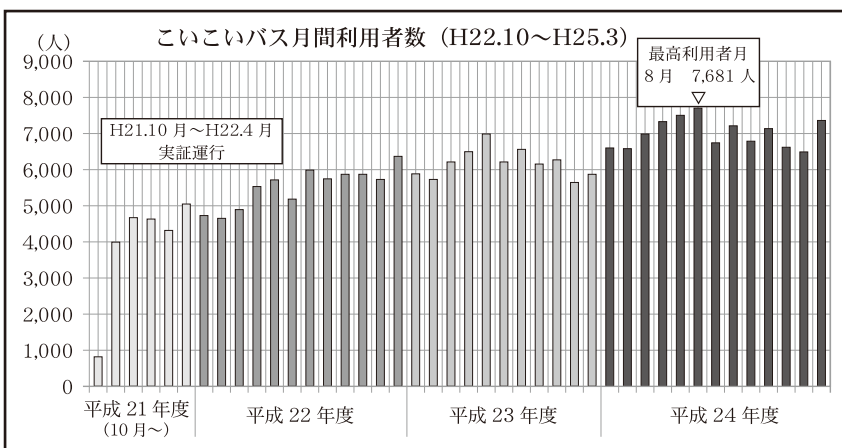
かん太 パパの車!

博士 公共交通を維持するためには、マイカー中心のライフスタイルから健康や環境、交通事故のリスクなどを考えて、バスなどの公共交通を利用することが大切なんじゃ。一人一人が「かしこいクルマ」の使い方心がけることが、よりよい環境のためにもよいことなんじゃ。多くの人と一緒に問題を考えることが必

要なことじゃし、公共交通の利用にもつながるんじゃないかの。

かん太 お姉ちゃん、今度家族で買い物に行くときは、こいこいバスで行こうよ。

きょう子 そうだね。環境のよい街は住みやすいからね。博士いろいろ教えてくれてありがとう。



こいこいバスの車内広告を募集しています。詳しくは市ホームページをご覧ください。問い合わせ 申し込みは自治振興課へ。